

結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆

令和4年10月号

木城町自治公民館連絡協議会

自治公民館活性化支援員 大津 新

「木城ふるさとまつり」から思うこと

10月15日（土）、「木城ふるさとまつり」が3年ぶりに開催されました。天気が心配されましたが、当日は快晴に恵まれました。コロナ禍で、様々な行事が中止となっている中で、老若男女を問わず待ちに待ったまつりとなりました。中之又神楽が披露され、「ふるさとまつり」という名称にふさわしい内容でもありました。また、各ブースも趣向を凝らしており、来場者の皆さんも満足しておられました。（町外からの来場者も多く、宮崎・西都方面の道路が混雑していたようです。）

「ふるさと」「ふれあい」「賑わい」の中から、地域の活力が高まり、「絆・きずな」が深まるということを実感した一場面でした。

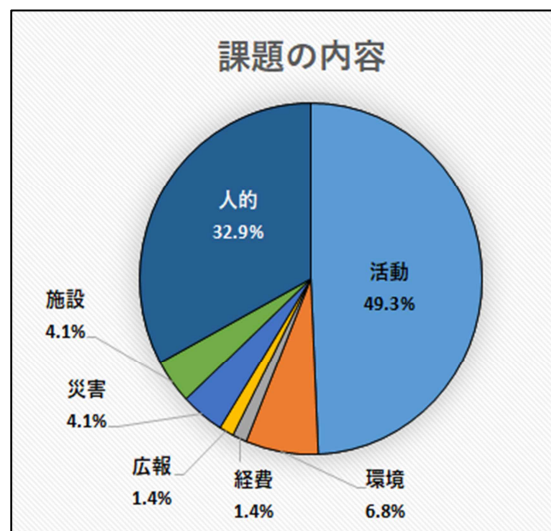


第2回自治公民館長会研修会まとめから

先日、第2回自治公民館長会の報告書をお送りいたしました。特にその中から、今後の方向性につながるご意見を取り上げたいと思います。

1 課題から

課題の中で多く見られたのが、コロナ禍で活動が制限され、交流の機会が激減したことでした。このことが、顔が見えない状況に拍車をかけ、地域の連帯感の低下につながっているという危機感を訴えられた館長さんもおられました。また、行事のマンネリ化が参加者の減少につながっているとの課題意識をもたれている館長さんもおられました。これらを含め、これから、各自治公民館の実態に応じて次年度の準備（計画・予算）を進めていただきたいと思います。



2番目に多かった課題として「人的」な面でした。特に、リーダー・役員の担い手不足は、様々な活動での「核（中心）」となるものです。解決方策・具体策で出されていた「高校生や大学生のアイデア採用」や「高校生や大学生をリーダーに採用」を含め、今後、人材発掘や人財育成など、中・長期的な視点での取組も必要になると思います。（※裏面：プロジェクト会議でも協議）

2 解決策・具体策から

ご意見の中で特に注目したのは「公民館」の活用でした。課題でも「活用制限」「どこまで利用できるかわからない」というものがありましたが、「交流の場」「交流機会の拡充」を図る意味でも「公民館」活用を再考することも大切だと思います。終了後、ある館長さんが、「今回の研修で、特別なことではなく、すぐにやれることがないか考えることができた。自分なりにやってみようと思う。」と述べられていたのがとても印象に残りました。



自治公民館活性化支援プロジェクト会議

第2回自治公民館長会、支援員前期活動の集約を受け、10月21日(木)「自治公民館活性化支援プロジェクト会議」を開催しました。この取組は、一昨年度にスタートし、本事業の構築、事業推進の協議を行うものです。今回は、次年度の予算編成や活動計画に向けての懸案事項や提案事項の検討を行いました。



第3回自治公民館連絡協議会役員会

10月24日(月)第3回自治公民館連絡協議会役員会を開催しました。生涯学習のつどい表彰者決定、木城町民グラウンドゴルフ交流大会等について協議を行いました。役員の皆様方には、お忙しい中、ご出席ご協議いただきありがとうございました。

＜行事予定＞

町民文化祭・生涯学習のつどい 11月12日(土)

いきいき作品発表会(体育館)

11月12日(土)～15日(火)

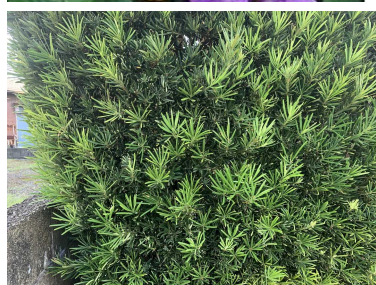
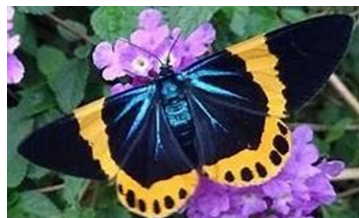
木城町民グラウンドゴルフ交流大会 12月11日(日)



各地区の話題 (取材・情報提供分のみ)

1 キオビエダシャクにご注意を！(ホームページにも掲載)

婦人会の会合で「とてもきれいな蝶がいた！」という話題になり、画像を見せていただいたら、キオビエダシャクという蛾でした。とてもきれいで蝶に間違われるのですが、垣根でよく使われるイヌマキ(右の画像)に卵をたくさん産み、**幼虫が新芽を食い荒らし枯らしてしまう害虫**です。見かけたらご近所と連携して駆除される方がよいと思います。



2 中之又鎮守神社秋祭り(ホームページにも掲載)

10月16日(日)中之又鎮守神社秋祭りが行われました。五穀豊穡、無病息災への感謝、地域保全の願いを込め、前日の「木城ふるさとまつり」に続いて神楽が奉納されました。社務所には、今までの取組の写真が飾られ、地区の歴史・伝統を守っておられる姿が飾られていました。(下の画像)その後、地区の方々と地区を離れておられる方々、旧中之又小学校に勤務された崎田先生ご夫妻など、神楽に関わられておられる方々にお話を聞かせていただき、地区の「絆(きづな)」の深さを感じるひとときでした。

